



# かさおか



昭和41年3月 仁科勝吉氏撮影

「コロナ禍を乗り越えて」

令和2年1月に、国内で初めて新型コロナウイルスの感染が確認されて以来、3年余り続いた長いトンネルをやっと抜け出して、社会経済の回復がみられるようになりました。また、まちづくり協議会においても、コロナ禍で活動の沈滞ムードが続いておりましたが、去る5月28日には総会を無事に開催することが出来ました。

総会の挨拶で地域活動の課題についてお話をしましたが、全国的に共通した傾向として、①役員の手不足、②役員の高齢化や固定化、③少子高齢化や過疎化による組織維持の困難、④活動に参加しない住民の増加、⑤町内会加入者の減少などの要因があり、私たち笠岡地区においても慢性的な役員の高齢化や固定化が進んでいると思われる。「私たちの地域を私たちの手で住み良くしていこう!」、「地域のためにまちづくり協議会に加わりたい」、「まちづくり協議会で活動したい」と行動する仲間が増えて来ることを切に願っております。

今、社会生活はウィズコロナ・アフターコロナの時代に向かっており、会員皆様のご理解とご協力を頂きながら、安全で安心して暮らせる地域社会を作るため、役員一丸となって取り組んで参りたいと思っております。一層のご支援をお願いいたします。

会長

- ・ 7月1日(土) 14:30~  
令和5年第2回文化部会を予定
- ※ 8月の予定
- ・ 8月10日(木) 18:30~  
令和5年第4回総務部会を予定
- ・ 8月20日(日) 10:00~  
令和5年第3回役員会を予定



『笠岡地区まちづくり協議会』

事務所：笠岡市笠岡2627番地  
「井戸会館」内

電話：63-5949

Fax：75-0101

E-mail：zukuri2@mx1.kcv.ne.jp

開館日：月・水・金曜日 14時~17時

## 令和5年度定期総会開催

新型コロナの感染拡大も落ち着いて社会活動も次第にコロナ禍前に戻りつつあります。本年度は5月28日に総会を開催し、委員

総数81名中69名(うち委任状36名)のご出席を頂き、次の4議案が承認・可決されました。

- ・第1号議案 令和4年度活動報告について
- ・第2号議案 令和4年度収支決算並びに監査報告について
- ・第3号議案 令和5年度活動計画(案)について
- ・第4号議案 令和5年度収支予算(案)について

### 令和4年度活動報告

事務局	開館日に会長と事務主任が常駐し、新型コロナの感染防止対策を実施しながら事務処理や来館者の対応等に携わりました。
総務部会	定期的に会議を開いて各部会や役員会の調整を図りました。 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況下でしたが、5月の役員会及び6月の総会は感染防止対策を講じながら3年ぶりに対面で開催することが出来ました。 第3回目の中学生アンケートを実施し、中学生の思いや考え方などを探りました。
くらし部会	第5回防災学習会を開催して、コロナ禍における避難行動と避難場所などを学びました。
子育て部会	小学1年生の入学に合わせ、自転車前カゴの「ひまわりプレート」を保護者に配付して見守り活動の協力を呼びかけました。また、「第9回子どもふれあい祭り」を開催し、新型コロナの感染防止対策のもとで親子が羽子板とプラ板作りを楽しんで親睦を深めました。
福祉部会	事務所前の環境美化に取り組みました。また、集会室等を活用して「いきいき100歳体操」や「スマホ教室」「クラフトバンド教室」を開いて会員の親睦を図りました。
文化部会	小学4年生を対象にした副読本「子ども版・絵と写真で見る笠岡町の歴史」の編集作業を3年度からの継続で進め、7月初めに150部を発刊することが出来ました。 そして、7月15日に笠岡小学校で冊子80部の贈呈式を行いました。
広報部会	コロナ禍にあつて、小・中学校や地域の行事が縮小や中止になり、取材も少なくなったので広報紙の紙面を工夫しながら情報発信に努めました。
地区運営委員会	コロナ禍のため親睦餅つき大会は見送りましたが、地域の花いっぱい活動に協力しました。

### 令和4年度収支決算報告

#### 「笠岡市交付金分」

##### 【収入の部】

(単位：円)

区分	予算額	決算額	摘要
笠岡市交付金	2,016,000	1,996,869	運営交付金
繰入金	132,000	0	
合計	2,148,000	1,996,869	

##### 【支出の部】

(単位：円)

区分	予算額	決算額	摘要
人件費	800,000	799,630	会長・事務主任報酬
管理費	744,000	755,879	事務所の運営経費 うち井戸会館賃借料 240,000、電気水道代 96,000 裁断機修理 13,970、郵便、電話、コピー代他
活動費	604,000	441,360	総会・役員会・部会の活動経費
合計	2,148,000	1,996,869	

※収入支出差引残額の19,131円は剰余金として市に返還しました。

#### 「事業会計分」

##### 【収入の部】

(単位：円)

区分	予算額	決算額	摘要
繰越金	346,992	424,669	
売上金	0	54,715	冊子売上(笠岡の歴史散見集他)
その他収入	0	30,562	コピーサービス、利息等
合計	346,992	509,946	

##### 【支出の部】

(単位：円)

区分	予算額	決算額	摘要
繰出金	0	0	
合計	0	0	

※収入支出差引残額の509,946円を次年度に繰り越しました。

## 令和5年度活動計画

区 分	活 動 内 容
総 務 部 会	笠岡地区まちづくり計画に基づき各事業の進捗状況を確認しながら地域の活性化を図る。総会及び役員会を開催する。まちづくり協議会の活性化を図るための研修会開催など。
くらし部会	自主防災会及び消防団等と連携して防災について学習し、自助・共助の力を培う。防災学習会を開催し災害の対処方法を学んで地域の防災力を推進する。
子育て部会	子どもふれあい祭りを開催し、子ども達の交流を図り地域の絆を深める。夏休み出前体験教室を開催し、科学遊びなどを通じて小学生の探求心などを育む。自転車の「見守りプレート」を新一年生保護者に配付して見守り活動を推進する。
福祉部会	井戸会館を「町のテラス」と見立てて、いきいき100歳体操やクラフトバンド・モチーフ作りの教室を開く。花いっぱい活動を進めて地域の環境美化を図る。
文化部会	「笠岡町の歴史探訪」を開いて、郷土の歴史や文化を知ることによって愛着心を養う。笠岡の町を気軽に散策できるマップの作成に取り組む。
広報部会	広報紙を発行してまちづくり協議会の活動を紹介し、住民意識の高揚を図る。
地区運営委員会	親睦餅つき大会の開催や花いっぱい活動に協力して地域活動の活性化を図る。

## 令和5年度収支予算

### 笠岡市交付金分

#### 【収入の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
笠 岡 市 交 付 金	2,010,000	運営交付金
そ の 他 収 入	0	
合 計	2,010,000	

#### 【支出の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
人 件 費	800,000	会長・事務主任報酬
管 理 費	807,000	事務所の運営経費 うち井戸会館賃借料 240,000 電気・水道代 96,000 その他事務用品・コピー代等 471,000
活 動 費	403,000	総会・役員会・部会の活動経費
合 計	2,010,000	

### 事業会計分

#### 【収入の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
繰 越 金	509,946	前年度繰越金
合 計	509,946	

#### 【支出の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
繰 出 金	0	
合 計	0	

## いと IDOシネマのご案内

第20回映画会 7月2日(日)午前10時開演

『懐かしきふる里・笠岡』vol.6

偉人シリーズ『仁科芳雄博士』

★第21回映画会は8月6日(日)の予定です。



「わがまち笠岡」三洋丸の出港



## ☆SDGs に取り組みましょう その②

### マイバックやマイボトルを活用する

SDGs 目標 12 や目標 14 の達成のために、日々の買い物やカフェに行く際は、マイバックやマイボトルを持って行くようにしましょう。

マイバックやマイボトルを活用することで、プラスチックごみの削減に貢献できます。

2016 年 1 月に発表された世界経済フォーラムの報告書によると、世界のプラスチック生産量は 1964～2014 年の 50 年間で 20 倍以上に増えていて、さらに今後 20 年間で倍増すると予想されています。

プラスチックごみによる海洋汚染問題が特に深刻です。プラスチックが河川などを流れて海に大量に流出しており、その量は毎年 800 万トン以上になるといわれています。このペースが続けば、2050 年には海のプラスチックごみの重量が魚の重量を上回る計算になるのです。

プラスチックごみが海に流れると、海が汚れるだけでなく、海の生き物やそれを食べる私たち人間などにもさまざまな悪影響を与えてしまいます。

プラスチックごみを減らすために、マイバックやマイボトルを持ち歩き、プラスチック袋をはじめ、使い捨てプラスチック製品の使用を削減するように意識しましょう。



### 水難事故に注意しましょう！

梅雨が明けると、本格的な夏の暑さとともに水に接する機会が多くなり、海や川、プールなどでの水による事故が増える時期となります。また、風呂場などでの水の事故を防ぐためにも、正しい知識を持って大切な命を守りましょう。

#### 水の事故を防ぐために

★家庭や子どもの遊び場では

- ・幼い子から目を離さない。(少しの水量でも窒息します。)
- ・子どもだけで遊ばせない。(川や池、海辺は特に注意する。)
- ・危ないと感じたら、自分の子どもでなくても注意をする。

★レジャーでは

- ・準備体操をしっかり行い、定期的に休憩をとる。
- ・体調が悪い時は泳がない。また自分の力を過信しない。
- ・危険と思われる場所や、遊泳禁止区域では泳がない。
- ・釣りなどのレジャーを楽しむ場合でも、ライフジャケット(救命胴衣)を着用する。

#### 万が一、事故が起きたら

- ・心を落ち着かせて、大声で周りの人に知らせる。
- ・119番通報を依頼し、周りの人と協力してロープや竿、浮き輪などで救助する。



#### 編集後記

梅雨が終わると暑い夏がやってきます。

新型コロナウイルスが感染法上の第5類に移行し、マスクの着用も個人の判断になっていますが、コロナウイルスが無くなった訳でなく、ケースバイケースで感染対策も続けながら、暑さに負けない健康な体を作っていきましょう。

I・M

